

# 新年



大館市長  
小畑 元

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、映画「HACHI 約束の犬」の公開に合わせたハチのふるさと「大館」のPRや大館市観光物産プラザのオープン、全国で紹介された犬文字など、まさに観光元年ともいべき年でした。

社会情勢では、長引く不況が本市にも影を落とし、企業の経営、雇用の維持に少なからぬ影響があった年でした。

明けて今年には「地域づくり」がキーワードと考えています。

地域づくりとは、地域住民のための「雇用の創出」「医療体制の整備」「危機管理体制の強化」「コミュニティづくり」を推進していくことです。

雇用の創出では、国や県の雇用対策基金事業などを活用し、失業者の雇用を図ってまいりましたが、引き続き、新たな雇用を生み出す企業の誘致実現や、安定した雇用の場の確保に全力で取り組みます。

医療体制の整備では、新型インフルエンザの世界的な流行で、より一層の医療の充実が求められており、また、がんや心臓病などの重篤な疾病に対応する二次医療機関へのニーズも高まっています。

これらの医療支援の拡充に向け、昨年は、看護7対1入院基本料施設基準を達成したほか、市立総合病院と弘前大学とで「弘前大学専門医療成病院ネットワークに関する協定」も締結しました。医師不足が叫ばれる中、今後とも質の高い医療と看護を提供し、地域医療の充実を図ってまいります。

危機管理体制の強化では、学校耐震対策を実施しているほか、来年度に向け緊急時情報一斉配信システムを構築中であり、今後も市民の安全安心のさらなる向上に努めていきます。

コミュニティづくりでは、人口減少や少子高齢化、核家族化が一層進展する中「大館市住生活基本計画」を策定し、まちと豊かな自然が調和した住まいづくりの実現に向け、市営大町住宅の建替え事業などに取り組んでいきます。

国が示す道筋がまだ不透明な状況ですが、市民生活の安定を第一に、雇用の確保と市民サービスの向上に努め、併せて市の行財政改革を進めてまいります。

大館の明るい明日を築くため、市民の皆さんとともに今年も全力であらゆる課題に取り組んでいきます。